



(19)

(11) Publication number: **0**

Generated Document.

**PATENT ABSTRACTS OF JAPAN**(21) Application number: **08038336**(51) Intl. Cl.: **C12N 15/09 C07H 21/04 C0**  
9/00(22) Application date: **26.02.96**

(30) Priority:	(71) Applicant: <b>SCIENCE &amp; TECH AG</b>
(43) Date of application publication: <b>02.09.97</b>	(72) Inventor: <b>ITANO NAOKI</b> <b>KIMATA HIROHARU</b>
(84) Designated contracting states:	(74) Representative:

**(54) POLYPEPTIDE OF NEW  
HYALURONIC ACID-  
SYNTHETIC ENZYME AND  
DNA CODING THE SAME**

(57) Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To obtain a new DNA coding a polypeptide of a hyaluronic acid-synthetic enzyme having a specific amino acid sequence, derived from an eucaryote, especially a mouse and useful for a gene thereby of a disease caused from depression of hyaluronic acid manifestation.

SOLUTION: This new DNA codes a polypeptide of a hyaluronic acid-synthetic enzyme having an amino acid sequence expressed by the formula, derived from an eucaryote, especially a mouse, etc., and is useful for curing containing a gene therapy of a disease of mammals caused from depression of hyaluronic acid manifestation, or a gene therapy for suppressing of cancer transfer using

or development, etc., of a specific inhibitor of hyaluronic acid synthetic enzyme by using an anti-sense DNA or RNA, etc. The new DNA is obtained by culturing a mouse breast cancer strain cell FM3AJCRB0701, etc., collecting its mRNA with a normal method, producing a cDNA library by using the mRNA, selecting a clone containing a DNA coding a hyaluronic acid synthetic enzyme by screening the cDNA and recovering the DNA.

COPYRIGHT: (C)1997,JPO

CTAAGCAGAA CAAGACGGAG AAGAGAGAAT CCAGGAGGAG CCACACCC ATG AGA  
Met Arg

1

GAC ATG CCA AAG CCC TCA GAG GCA GGG CGT TGC TGC TCT GGC CTG  
Asp Met Pro Lys Pro Ser Glu Ala Ala Arg Cys Cys Ser Gly Leu

5

10

15

AGG CGA GCA CTC ACG ATC ATC TTT GCC CTG CTC ATG CTG GGC CTC  
Arg Arg Ala Leu Thr Ile Ile Phe Ala Leu Leu Ile Leu Gly Leu

20

25

30

⋮

GCT GGG CCT GGT GCC TAT GTG GCC TAC TGG GTG GTA ATG TTA ACT  
Ala Gly Ala Gly Ala Tyr Val Ala Tyr Trp Val Val Met Leu Thr

550

555

560

TAC TGG GTA GGT GTG AGG AGG CTG TGC AGA CGT CGG AGC GGT GGT  
Tyr Trp Val Gly Val Arg Arg Leu Cys Arg Arg Arg Ser Gly Gly

565

570

575

CGT CTC CAA GTA T GAGTCCGGGC ATGAGATGC AGCTGAGGSC TCTTAAAG  
Arg Val Gln Val

580

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平8-38336

(43) 公開日 平成8年(1996)2月13日

(51) Int. Cl. <sup>6</sup>	識別記号	庁内整理番号	F I	技術表示箇所
A 4 7 G 27/00	B			
B 3 2 B 5/26		9349-4F		
9/02		9349-4F		

審査請求 未請求 請求項の数 2 O L (全 3 頁)

(21) 出願番号 特願平6-180059  
(22) 出願日 平成6年(1994)8月1日

(71) 出願人 000005821  
松下電器産業株式会社  
大阪府門真市大字門真1006番地  
(72) 発明者 松田 功  
大阪府門真市大字門真1006番地 松下電器  
産業株式会社内  
(72) 発明者 萩野 隆子  
大阪府門真市大字門真1006番地 松下電器  
産業株式会社内  
(74) 代理人 弁理士 小銀治 明 (外2名)

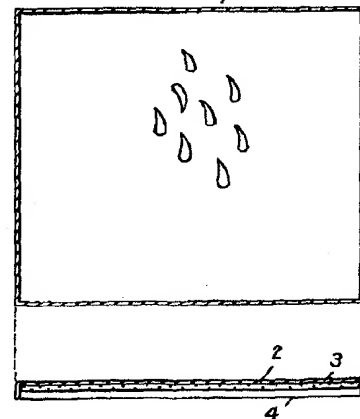
(54) 【発明の名称】 電気カーペット用カバー

(57) 【要約】

【目的】 本発明は、綿素材を表面に使用し、肌にやさしく、耐久性、洗濯性にすぐれた電気カーペット用カバーを提供する。

【構成】 表面を綿の織り生地2とし、ポリウレタンフォーム3と、不織布4を一体に接着積層した構成。

- 1 電気カーペット用  
カバー本体
- 2 綿り生地
- 3 ポリウレタンフォーム
- 4 裏生地(不織布)



【特許請求の範囲】

【請求項1】綿の織り生地を表面とし、不織布等の裏地と接着積層し、一体に構成した電気カーペット用カバー。

【請求項2】織り生地は、少なくとも縦糸で地組織、横糸で風合を構成し、少なくとも横糸は綿素材とし、かつ生地は少なくとも表面側横糸を起毛加工し、内部にウレタンフォームを介し、裏生地はニードルパンチ不織布を使用して、それぞれを接着積層した請求項1に記載の電気カーペット用カバー。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】本発明は電気カーペット用カバーに関するものである。

【0002】

【従来の技術】従来の電気カーペット用カバーは、素材にポリステル、アクリル、ナイロン、ウール等が使用され、組織はタフト、ウィルトン織り、ラッセル編み等が使用されている。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】しかしながら上記従来の素材では、近年特に多くなったと言われているアトピー性の人に象徴されるように、肌の弱い人にとっては、安心して使用することができないものであった。

【0004】また、従来の組織では、織りや編み後の裏面に樹脂のバックリング処理が必要であり、重く、嵩高くて、小さく折りたたむことが困難であり、さらに、樹脂のバックリングが水洗いやドライクリーニングに弱く、家庭で簡単に洗えるものではなかった。

【0005】そこで、本発明の電気カーペット用カバーは、表面素材に綿を使用し、肌にやさしい電気カーペット用カバーを提供することを第1の目的としている。

【0006】第2の目的は、敷物としての腰、耐久性、クッション性を確保し、さらに家庭で簡単に洗濯ができる電気カーペット用カバーを提供することである。

【0007】

【課題を解決するための手段】そして上記目的を達成するために、本発明の電気カーペット用カバーは綿の織り生地を表面側とし、不織布等の裏生地と接着積層し、一体に構成した。

【0008】また、織り生地は、少なくとも縦糸で地組織、横糸で風合を構成し、少なくとも横糸は綿素材とし、かつ織り生地の少なくとも表面側横糸を起毛加工した。そして、織り生地と裏生地を内部にウレタンフォームを介し、裏生地はニードルパンチ不織布を使用して、それぞれを接着積層したものである。

【0009】

【作用】本発明は上記した構成により、人が使用する表面は綿素材であるので、肌の弱い人にとって天然素材の

やさしさが実現される。

【0010】また、ウレタンフォームを介して裏生地に不織布を接着積層した構成により、織り生地だけでは得られない敷物としての腰、クッション性がある。さらに、接着積層構成であるので、水洗いに強く、折り畳みや、巻付けが容易で洗濯機による洗濯が可能になる。もちろんドライクリーニングも可能になる。

【0011】

【実施例】以下本発明の電気カーペット用カバーの一実施例を図面に基づいて説明する。

【0012】図1、図2において、織り生地2と、ポリウレタンフォーム3と、裏生地4を接着積層している。そして、織り生地2は、横糸aを綿素材とし、縦糸bとで構成し、横糸aに起毛加工を施し、繊維を表面に浮き出させている。

【0013】そして、横糸は番手10/3を使用し、ポリウレタンフォームは2~4mmを使用し、不織布は70~100g/m<sup>2</sup>とした。

【0014】次にこの実施例の構成における作用を説明する。本発明の電気カーペット用カバーは、織り生地の綿素材を表面に浮き出させることで、使用する人に天然素材のやさしさと安心を与える。そして、ウレタンフォームと、不織布が敷物としての使用感、腰、耐久性、洗濯性の向上を果たしている。

【0015】

【発明の効果】以上のように本発明の電気カーペット用カバーによれば、表面に綿素材を使用していることから、肌の弱い人も電気カーペットを安心して使用することができる。

【0016】次にウレタンフォームと不織布を綿の織り生地に接着積層していることから、敷物としての使用感が良く、耐久性が高く、洗濯性を向上させる効果がある。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の一実施例における電気カーペットカバーの概略図

【図2】(A) 本発明の一実施例における織り生地の斜視図

(B) 本発明の一実施例における織り生地の部分断面図

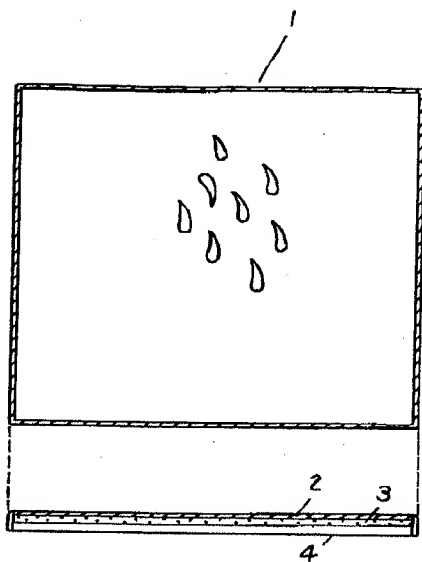
【図3】本発明の一実施例における部分断面図

【符号の説明】

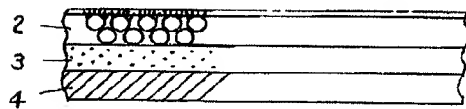
- 1 電気カーペット用カバー本体
- 2 織り生地(綿)
- 3 ポリウレタンフォーム
- 4 裏生地(不織布)
- a 横糸(綿)
- b 縦糸
- c 起毛部

【図1】

- 1 電気カ ベット用  
カバー本体
- 2 織り生地
- 3 ポリウレタンフォーム
- 4 裏生地(不織布)



【図3】



【図2】

- a ココ糸(綿)
- b タデ糸
- c 起毛部

